

株坂本組が安全大会を開催

「時代は変わっても、安全第一が経営であることに変わりなし」

坂本社長

新上五島町の株坂本組(坂本幸二代表取締役社長)は、総括安全衛生



坂本社長による冒頭のあいさつ

管理(者)は7月から始まる全国安全週間を前に、上五島建設会館を会場にして労働安全衛生大会を開催した。24日に開かれた大会会場には全国安全週間スローガンとともに『なくすぞ災害目指せ無災害各自の意識が事故を無くす』との同社の独自安全スローガンを掲げられ、社員をはじめ協力業者約90名が、労働災害をゼロにすることを現実に向けて、職場の安全水準を一段と高めていくことを誓い合った。序盤に登壇した坂本社長は、あいさつの中で「事故防止を呼びかけ、徹底していくことは私どもの責務でもあ

講演のようす(写真は本田検査指導幹)



り、安全・安心な職場は私たち全員の願い。現場で汗を流して働いている方々によって支えられている我々は、安全第一は経営であることも一度肝に銘じなければならな

い。労働災害がもたらす損失は甚大です」と、強調。そのうえで「これからの梅雨、夏本番を迎え厳しい作業環境となるため、熱中症の危険性が増すとともに、暑さによる

なる緊張感を持って各種の安全対策を着実に実践していくことが職場の安全を支える基本。今日、ここから労働災害防止の重要性についての認識を深め、積極的な労働災害防止活動を展開して誰もが安心して働くことのできる職場づくりに努めよう」と、会場に呼び掛け「ご安全に！」と締め括った。

来賓には、(一社)長崎県建設業協会五島支部から浜田哲男副支部長が足を運び、講演には、長崎労働基準監督署五島駐在事務所の

上川尚孝所長、長崎県五島振興局上五島支所の本田保検査指導幹、同じく保健部の川井光子主任技師・管理栄養士が来場して順に講師に立った。

では、上川所長が、P D C Aの意味の再確認、安全帯に関する法改正、さらに墜落事故防止と熱中症対策についての注意点を述べた。次いで本田検査指導幹は、労働災害のうち三大事故についての発生状況の調査発表、および安全管理を運営していく上でのポイントを説明。川井氏は、主に健康寿命について講じた。

この後に行われた協力会社表彰では、(増田鉄骨製作所に表彰状が手渡されるなど、毎年恒例となっている技術者表彰や永年勤続者表彰も行われた。終盤では社員代表の松下雅仁氏が壇上の坂本社長を前に、「坂本組は昭和前から平成と、安全第一を基本理念に災害撲滅に向け、その時代に求められる安全活動を行ってきた。令和になっても過去に甘えることなく作業のリスクを一つ一つ洗い出し、真剣に改善し検証を続けていきます。そのことが企業として、さらには建設



安全宣言

業全体の社会的信頼へとつながっていくことを信じ、全員が一丸となつて邁進していきます」と宣言。締めは全員で声を揃えて「がんばろう」を三唱。今大会を契機に、改めて気を引き締めて作業にあたっていくことを全員が胸に誓った。